クレーン車
揚重作業

何トンもの重い物をクレーン車で吊り上げる、作業現場の力持ち!!

もっと、くわしくみてみよう!

保科リース株式会社

出張授業可能です　職場見学可能です

所在地／富士市中島422　TEL.0545-61-3087　http://hoshinalease.com
創業／1972(昭和47)年3月　従業員数／50名(2026年8月現在)

私たちの仕事

私たちは、クレーン車を運転して作業現場に向かい、そこで何トンもある重い物を安全に吊り上げ移動させて、工事や作業がより楽に、より早く行われるお手伝いをします。そのため、現場の下見をし、広さ・重さ・移動距離などを検討・打ち合わせしてから機種を決めます。ビル建設、橋や高速道路、また工場の大型機械の設置など、さまざまな工事や作業の現場で役に立ち、社会の発展に貢献します。


▲高速道路での作業の様子

? クレーン車揚重作業の仕事とは?

安全管理を徹底しながら作業をします

鉄骨や建築資材などの重いものをクレーンで吊り上げ、指定された場所へ正確に運搬・配置。大型特殊免許やクレーン運転士免許、玉掛け技能講習などの資格が必須です。



受注・下見

1



仕事の依頼が入ったら現場を下見・調査。安全に作業できるかを確かめます。

クレーン車搬入

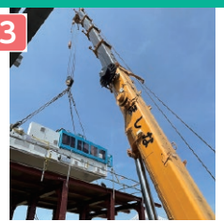
2



大きなクレーン車が到着。ブームをのばして、準備完了です。

作業開始

3



重い機材をクレーンで吊り、指定の場所へ、ゆっくりと安全に運びます。

工事完了

4



設備をきれいに置いて、細かいところまでチェック。問題なければ完了です。

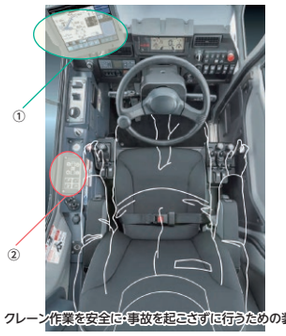

運転席全体の様子

? どうやって運転しているの?

運転席を紹介します

運転者の安全を守り、長時間の作業でもつかれにくいように設計。視界が広く、たくさんの機能が付いたレバーや計器が、コンパクトに配置されているのが特徴です。

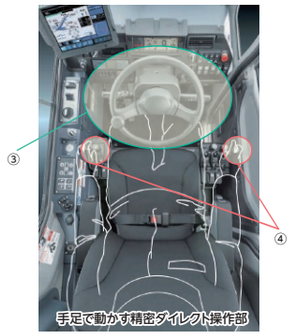
①メインコンピューター ②アウトリガー操作パネル



クレーン作業を安全に・事故を起こさずに行うための装置

①…クレーン車の命! この画面に作業状態を設定すると安全装置が働き、安全に作業できます。②…作業前に車両の側面から「アウトリガー」と呼ばれる4本の足を出し、地面に接地させ車体を固定することで作業ができます。

③走行時運転ハンドル ④クレーン操縦レバー



手足で動かす精密ダイレクト操作部

③…現場への行き帰りに道路を走行するときは、車と同じようにこのハンドルで運転します。④…この操縦レバーを使い荷物を上げたり、下げたり、旋回したりします。足元にペダルもあり、両手と両足も使ってクレーン作業をしています。

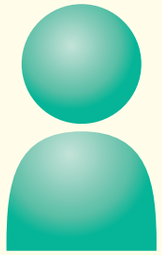
どうしてあんなに重いものが持ち上がるの?



液体の圧力が伝わっていく法則(パスカルの原理)を利用した油圧装置で、クレーン内部に満たされている作動油という油に圧力をかけ、かけた圧力の何倍もの力を発揮します。この圧力と強靭なワイヤーで、重たい荷物を吊り上げます。

働く人の声

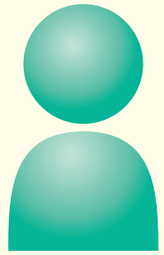
仕事のやりがいを聞いてみました。



オペレーター(運転・操作)
Nさん

クレーン車は、大事な相棒です

子どものときからクレーン車の操縦にあこがれて資格を取りました。巨人ロボットを操作している気分です。思い通りにぴったり荷物を設置できたときは最高にうれしいです。



オペレーター(運転・操作)
Mさん

目に見えるものとして残るうれしさ

毎日クレーンを運転し、いろいろな現場へ行きます。現場の数だけ大変なこともありますが、自分が苦労して工事した構造物は自慢です。どんな作業も緊張感をもって行っています。